BAL-Rシリーズ 補足取扱説明書

自走型：BAL-R3／BAL-R5
介助型：BAL-R4／BAL-R6

本書は、BAL-Rシリーズ（BAL-R3／BAL-R4／BAL-R5／BAL-R6）共通の補足取扱説明書です。本書では、機種ごとに装備が異なる項目には、該当機種を記載しております。該当機種を確認いただき、ご自分の車いすに関係する項目をお読みください。ご使用前に本書と別冊「車いす取扱説明書」を必ずお読みになり、十分に理解をした上でお使いください。また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。使用者の身体の状況・環境の変化に合わせて、必要なときに本書をお読みください。

はじめにご確認ください

本製品ご購入後にはじめて梱包箱をあけるときに、下記のものがすべて入っていることを確認してください。

・車いす本体　・フット・レッグサポート　・工具（スパナ 2ケ　六角レンチ5㎜・4㎜・3㎜ 各1ケ）
・背アウターシート（BAL-R5/BAL-R6のみ）
・補足取扱説明書（本書）　・車いす取扱説明書　・保証書

使用目的・特徴

本製品は手動式車いすで、一人乗り用です。これに搭乗して移動と、休息を目的としています。

BAL-R3／BAL-R5の場合

特殊な身体保持具、バックサポート（背）・座位の角度調整機構等がなく、使用者がハンドリムを操作して駆動する手動式の自走用標準車いすです。
日常生活用に設計されており、特殊な使用目的（スポーツ・入浴など）のものではありません。

BAL-R4／BAL-R6の場合

特殊な身体保持具、バックサポート（背）・座位の角度調整機構等がなく、介助者が操作する介助用標準型車いすです。
日常生活用に設計されており、特殊な使用目的（スポーツ・入浴など）のものではありません。

安全上のご注意

⚠危険

BAL-R5/BAL-R6の場合

駆動輪（主輪）とキャスタは、同じ仕様の部品を使用し、それぞれ座高に対応する位置に取り付けてください。
駆動輪（主輪）とキャスタの取り付け高さを誤ると、乗車した際に転倒して、事故やけがにつながる恐れがあります。

⚠警告

フット・レッグサポートを回転させた状態で車いすの操作をしないでください。
フット・レッグサポートを取り外さず回転させたまま使用すると、駐車用ブレーキや障害物との接触などにより、事故やけがにつながる恐れがあります。

フット・レッグサポートの回転時およびウイングアームサポートの跳ね上げ時は、フック部や可動部に身体や衣類を引っ掛けたりはさんだりしないように注意してください。
けがをする恐れがあります。

走行中は、アームサポートの跳ね上げ、フット・レッグサポートの回転等の操作をしないでください。
事故やけがにつながる恐れがあります。

アームサポート戻した後は、アームサポートが確実に固定されたことを確認してください。
使用中に外れると、事故やけがにつながる恐れがあります。

BAL-R5/BAL-R6の場合

座面の高さの調節は、販売店へ依頼してください。

フット・レッグサポートを戻した後は、フット・レッグサポートが確実に固定されたことを確認してください。
使用中に外れると、事故やけがにつながる恐れがあります。

アームサポートを跳ね上げた状態で走行しないでください。
使用者が車いすから落ちて、事故やけがにつながる恐れがあります。

アームサポート・アームサポートフレーム、フット・レッグサポートを持って車いすを持ち上げないでください。
部品が外れて、事故やけがにつながる恐れがあります。

乗り降りの際は、アームサポート、フット・レッグサポートに身体や衣服を引っ掛けないように注意してください。
転倒など事故やけがにつながる恐れがあります。

⚠注意

アームサポートを跳ね上げて乗り降りする際は、アームサポートを最後まで跳ね上げたことを確認してから行ってください。
アームサポートが身体、衣服に引っかかり、けがをする恐れがあります。

BAL-R5/BAL-R6の場合

アームサポートの高さを調整した後は、必ずロックされたことを確認してください。

バックサポートの面ファスナーの張り具合を過度に強くしますと、十分に車いすが開かなくなりフレームの変型の原因になります。

使いかた

アームサポートの跳ね上げ

アームサポートをワンタッチで後方へ跳ね上げることができます。
ベッドと車いすの間の移乗などがスムーズに行えます。

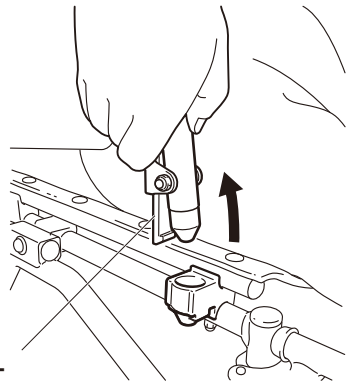
⚠警告	・操作は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行ってください。 ・アームサポートを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて、事故やけがにつながる恐れがあります。

⚠注意	・アームサポートを跳ね上げて乗り降りする際は、アームサポートを最後まで跳ね上げたことを確認してから行ってください。アームサポートが身体、衣服に引っかかり、けがをする恐れがあります。

● 跳ね上げかた

ロックレバーの上側を押しながら、アームサポートを持ち上げて後方へ跳ね上げます。

＊アームサポートを上げた状態で、アームサポートに力を加えないでください。フレームが変形し故障の原因となります。



● 戻しかた

⚠注意	アームサポートを下ろすときは、身体をはさまないように注意してください。

アームサポートを下ろし、元の位置に戻します。

＊アームサポートを下ろした後は、アームサポートが確実に固定されたことを確認してください。

⚠警告	アームサポートを跳ね上げた状態で走行しないでください。使用者が車いすから落ちて、事故やけがにつながる恐れがあります。

フット・レッグサポートの開閉・取り外し

フット・レッグサポートをワンタッチで開閉させたり、取り外すことができます。車いすへの乗り降りの際は、フット・レッグサポートが脚にぶつかることなるスムーズに移乗することができます。

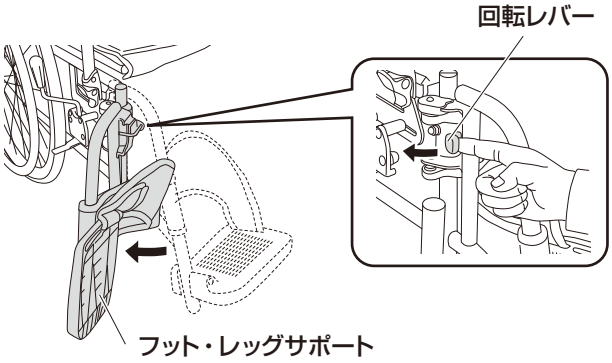
⚠警告	・フット・レッグサポートの開閉・取り外し・取り付けは、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行ってください。 ・フット・レッグサポートを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて、事故やけがにつながる恐れがあります。 ・乗り降りの際は、フット・レッグサポートに身体や衣服が引っ掛からないように注意してください。転倒など事故やけがにつながる恐れがあります。 ・フット・レッグサポートの回転時、フット・レッグサポートに身体や衣服が引っ掛からないように注意してください。転倒など事故やけがにつながる恐れがあります。 ・フット・レッグサポートを開いた状態で、車いすの操作をしないでください。 ・フット・レッグサポートを戻した後は、フット・レッグサポートが確実に固定されたことを確認してください。

⚠注意	・フット・レッグサポートの開閉・取り外し・取り付けは、使用者の足をフットサポートから降ろした状態で行ってください。

● 開きかた

回転レバーを矢印の方向に引き、そのままフット・レッグサポートを外側に回転させて開きます。

＊フット・レッグサポートを開いた状態で、フット・レッグサポートに力を加えないでください。
部品が変形して故障の原因となります。



● 閉じかた

フット・レッグサポートを内側に回転させて閉じます。

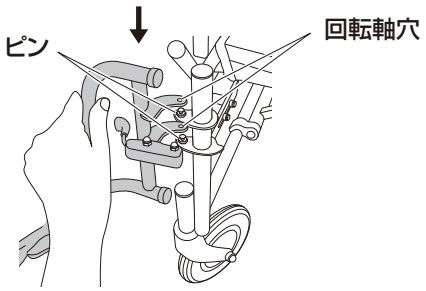
＊フット・レッグサポートを閉じるときに、指をはさまないように注意してください。
＊フット・レッグサポートを閉じた後は、フット・レッグサポートが確実に固定されたことを確認してください。

● 取り外しかた

フット・レッグサポートを外側に開いた状態で、垂直に引き上げます。

● 取り付けかた

1 本体フレーム側のピンに、フット・レッグサポート側の回転軸穴を合わせて、垂直に上からはめ込みます。



2 フット・レッグサポートを内側に回転させて閉じます。

＊フット・レッグサポートを閉じるときに、指をはさまないように注意してください。
＊フット・レッグサポートを閉じた後は、フット・レッグサポートが確実に固定されたことを確認してください。

各部の調節のしかた

⚠警告	・各部の調節は必ず駐車用ブレーキをかけてから、平坦な場所で行ってください。 ・座面の高さ調節は、販売店へ依頼してください。

座面の高さ調節

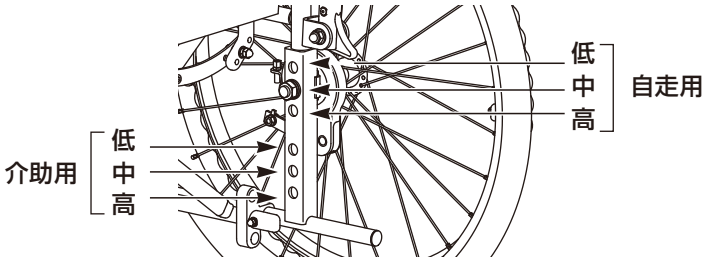
BAL-R5／BAL-R6の場合

座面の高さを最大3段階（低・中・高）に調節することができます。
座面の高さ調節は、駆動輪（主輪）とキャスタの取り付け位置をそれぞれ対応する高さ（低、中、または高）に調節することで行います。

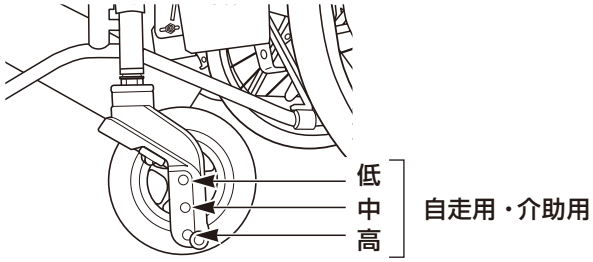
＊駆動輪（主輪）とキャスタは、それぞれ左右同じ高さに調節してください。
＊座面の高さを変更したら、必ず駐車用ブレーキの取り付け位置も併せて調節してください。

● 駆動輪（主輪）とキャスタの調節範囲

駆動輪・主輪



キャスタ



⚠危険	・駆動輪・主輪とキャスタは、必ず対応する高さ設定に調節してください。駆動輪・主輪とキャスタの調節を誤ると、腰掛けた場合に転倒する恐れがあります。 ・使用者を乗せたまま調節を行うことは、絶対におやめください。 ・自走↔介助への組み換えには、それぞれに対応した駆動輪（主輪）が必要となります。

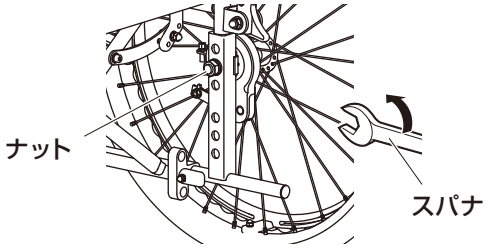
● 駆動輪（主輪）の高さを変える

使用する工具：19mmスパナ　2本

1 作業しない側の駐車用ブレーキのみかけます。

2 駆動輪（主輪）の車軸外側をスパナでおさえたまま車軸内側のナットをスパナで回して外し、駆動輪（主輪）を引き抜きます。

＊このとき、制動用ブレーキも一緒に取り外します。



3 駆動輪（主輪）を取り付ける穴を決め、駆動輪（主輪）の車軸を制動用ブレーキに通し、本体フレームに差し込みます。

4 車軸内側にナット等を取り付け、車軸外側をスパナでおさえたまましっかりと締め込みます。

5 駆動輪（主輪）がガタつかず、しっかりと固定されていることを確認します。

＊反対側も同じ高さに調節してください。
＊締め付けトルク：20.0～24.0N·m

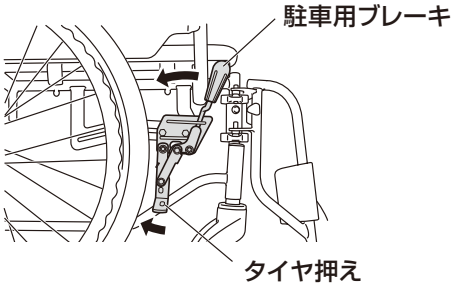
● 駐車用ブレーキの取付位置を調節する

＊座面の高さを調節したら、駆動輪（主輪）と駐車用ブレーキ間の距離が変わります。必ず駐車用ブレーキの取付位置を調節してください。
＊ブレーキの効き具合を随時点検し、効きが悪い場合は、ブレーキの取付位置を調節してください。

使用する工具：10mmスパナ（締め付けトルク：5.0〜6.0Nm）

1 駐車用ブレーキの内側のナット（2本）をスパナでゆるめます。

2 駐車用ブレーキをかけたときに、タイヤに駐車用ブレーキのタイヤ押えが当たり、駆動輪（主輪）がしっかり止まる位置に調節します。



3 ナット（2本）を締め、駐車用ブレーキがガタつかずしっかり固定されていることを確認します。

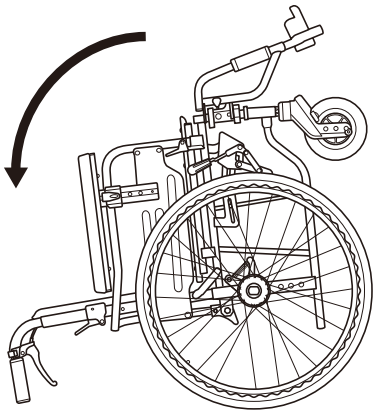
4 駐車用ブレーキをかけ、駆動輪（主輪）がしっかり止まることを確認します。

＊駆動輪（主輪）がしっかり止まらない場合、または駐車用ブレーキが効きすぎる場合は、再度調節してください。
＊反対側も同様に調節してください。
＊自走↔介助の組み換え時は、駐車用ブレーキを取り外す必要があります。

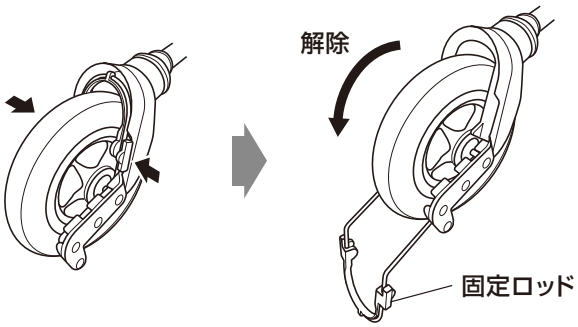
● キャスタの高さを変える

1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。

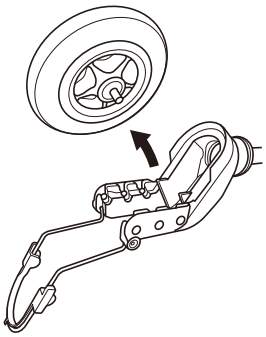
2 車いすを後方に倒します。
＊まわりに人や障害物がないことを確認して、ゆっくり動かしてください。



3 キャスタフォークの固定ロッドを両側から指ではさみ、矢印の方向に動かしてロックを解除します。

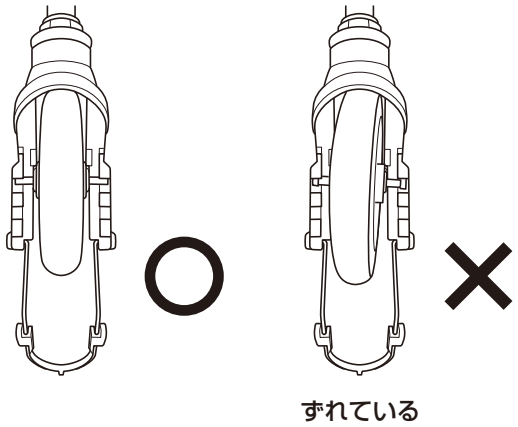


4 車輪を上に引っ張って、車輪を外します。
＊キャスタフォークや車輪の軸に異物があるときは、この時点で取り除いてください。



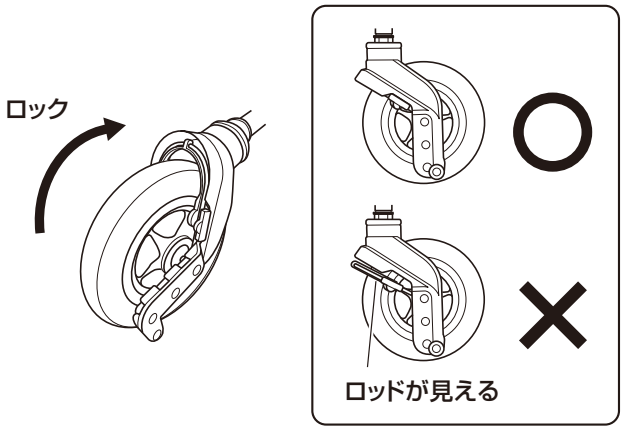
5 「駆動輪（主輪）とキャスタの調節範囲」に従って、駆動輪（主輪）と同じ高さ設定にある溝に、車輪を挿入します。

＊反対側も同じ高さに挿入してください。



6 固定ロッドをもとの位置に戻してロックします。

＊固定ロッドを軽く動かして、確実に固定されたことを確認してください。



7 車いすを元の位置に戻します。

アームサポートの高さ調節

BAL-R5／BAL-R6の場合

アームサポートの高さを4段階に調節することができます。
使用者の体格やお使いのクッションに合わせて高さを調節してください。

⚠警告	・アームサポートを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れると、事故やけがにつながる恐れがあります。 ・高さ調節をした後は、アームサポートが確実に固定されたことを確認してください。 ・高さ調節の際は、アームサポートフレームとアームサポートの間に指をはさまないように注意してください。けがをする恐れがあります。

⚠注意	・アームサポートの左右を入れ替えたり、前後の向きを入れ替えて使用しないでください。

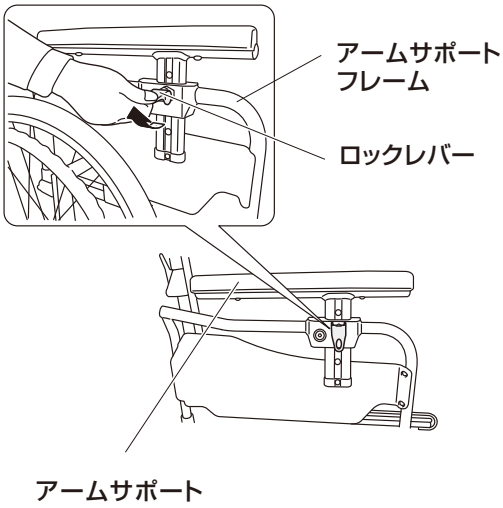
1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。

2 アームサポートを支えながら、ロックレバーを引いてロックを解除します。

3 アームサポートを上下に動かして、高さを調節します。

4 希望の高さに調節したら、ロックレバーを押し下げます。

5 アームサポートを軽く上下に動かして、ロックレバーがいっぱいまで下がり、アームサポートが確実に固定されたことを確認してください。



＊反対側も同様に調節してください。

バックサポートの張り具合調節

BAL-R5／BAL-R6の場合

バックサポートにはテンション式背シートを装備しています。テンション式背シートの張り具合を適切に調節することにより、バックサポートが使用者の体にフィットし、疲れにくく安定した姿勢を保つことができます。

＊調節は使用者を乗せた状態で行ってください。
＊アウターシートを外して調節を行うと、効果を確認しやすくなります。

⚠注意	・面ファスナーに糸くず、汚れ等がついた際は、接着が弱くなりますので取り除いてください。 ・面ファスナーの張り具合を過度に強くしますと、十分に車いすが開かなくなりフレームの変形の原因になります。

バックサポートの張り具合を随時チェックし、必要に応じて調節してください。

1 両輪の駐車用ブレーキをかけます。

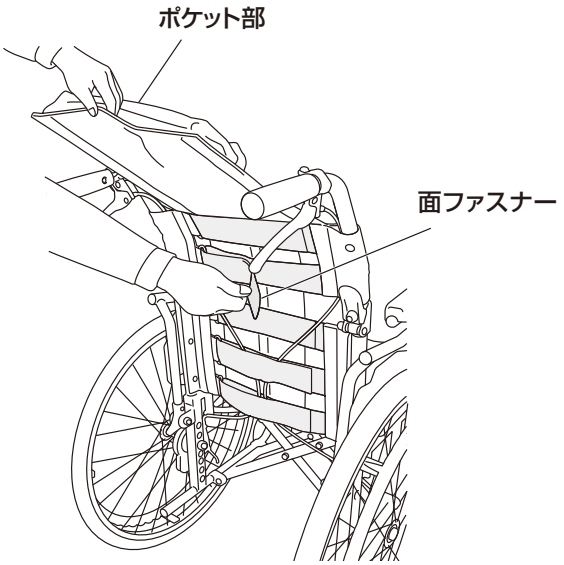
2 ポケット側の背アウターシートをめくり上げます。

3 面ファスナーをはがし、バックサポートの張り具合を調節した後、もう一度面ファスナーをしっかりと貼り合わせます。

＊手でバックサポートを押し、確実に固定されていて、張り具合が適切であることを確認ください。

4 ポケット側の背アウターシートを元に戻します。

＊過度の調節（ゆるめすぎ、締めすぎ）はかえって姿勢を崩すことになりますので、十分注意して行ってください。



困った時には

車いすをご使用されていて「故障かな」と思われましたら、販売店へ連絡するまえに下記項目を確認してください。

症　状	確　認　点	対　処
車いすがまっすぐ走らない。斜行する。	路面が傾斜していませんか。 車いすは、傾斜面では低い方へキャスタが流れる特性があります。	低い方へ曲がらないように車いすを操作してください。 **〈自走の場合〉** 傾斜面の低い側に当たる駆動輪をより強く回してください。 **〈介助者が押す場合〉** 傾斜面の低い側に当たる手押しハンドルに、より力を入れて押してください。
	キャスタの回転に左右差がありませんか。 キャスタ軸の回転がスムーズですか。	お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
	キャスタ・駆動輪（主輪）の計4輪がきちんと接地していますか。	
駐車用ブレーキが効かない。	駆動輪（主輪）のタイヤは摩耗していませんか。	お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
	駐車用ブレーキのタイヤ押えが駆動輪（主輪）にきちんと当たっていますか。 駐車用ブレーキがガタついていませんか。	
制動用ブレーキが効かない。	ワイヤーチューブが、折れ曲がったり、引っ掛かったりしていませんか。	インナーワイヤーがスムーズに動くように、ワイヤーチューブの取廻しを修正してください。 改善がみられない場合は、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
	ワイヤーが伸びたり、切れたりしていませんか。	お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
異音がする。	本体や駆動輪（主輪）とオプション品、アクセサリーなどとの干渉はしていませんか。	車いすに取り付けて使用するカバンなどは駆動輪（主輪）など回転する箇所と干渉しないようにしてご使用ください。
	可動部分の錆び・摩耗・汚れ・油きれなどによっておこる摩耗音がしていませんか。	お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
	ボルト類の緩み等がおきていませんか。	
	フレームに歪みが発生していませんか。	
車いすが開かない。 （BAL-R5 BAL-R6 の場合）	バックサポートの張り具合を締めすぎていませんか。	バックサポートの張り具合を調節してください。

仕 様

	BAL-R3	BAL-R4
フレーム材料	アルミ	アルミ
シート材料	ポリエステル	ポリエステル
アームサポートタイプ	開閉式（ウイング）	開閉式（ウイング）
アームサポート	ウレタン	ウレタン
サイドガード	ポリプロピレン	ポリプロピレン
グリップ	PVC	PVC
バックサポート	スリングシート	スリングシート
背折れ	あり　レバー式	あり　レバー式
フット・レッグサポートタイプ	開閉式（スイングアウト）	開閉式（スイングアウト）
フットサポート	軽量	軽量
キャスタ	ソフトフォーミング	ソフトフォーミング
タイヤ	ハイポリマータイヤ	ハイポリマータイヤ
制動用ブレーキ	サーボブレーキ	サーボブレーキ
ハンドリム	プラハンドリム	なし
駐車用ブレーキ	引き掛け式トグルブレーキ	引き掛け式トグルブレーキ

測定項目	BAL-R3	BAL-R4
駆動輪（主輪）径（inch）	22	16
キャスタ径（inch）	6	6
前座高	435	460
後座高	410	435
シート奥行	400	400
シート幅	400	400
バックサポート高	420	420
フットサポート・シート間距離	370±20	370±20
アームサポート高	240	240
全高	910	935
全幅	600	545
全長	975	965
折りたたみ全高	695	720
折りたたみ全幅	340	265
折りたたみ全長（※2）	725（955）	665（895）
重量（kg）	13.9	12.3

※1　シート幅の調節機能はありません。シート幅は、車いすのエックスフレームに明記されています。
※2　（　）内はフット・レッグサポートを取り付けたままのサイズです。

静的安定性試験方法（弊社ではJIS T9201 10.1.2a方式によって試験を行っています。）
キャスタが交換可能な場合、推奨するキャスタ径は上記キャスタ径になります。駆動輪・主輪のボルトとナットは、インチねじ（UNF 1/2-20山）仕様になります。

機種名		
	BAL-R5	BAL-R6
	アルミ	アルミ
	ポリエステル	ポリエステル
	開閉式（ウイング）	開閉式（ウイング）
	ウレタン	ウレタン
	ポリプロピレン	ポリプロピレン
	PVC	PVC
	テンション調整	テンション調整
	あり　レバー式	あり　レバー式
	開閉式（スイングアウト）	開閉式（スイングアウト）
	軽量	軽量
	ソフトフォーミング	ソフトフォーミング
	ハイポリマータイヤ	ハイポリマータイヤ
	サーボブレーキ	サーボブレーキ
	プラハンドリム	なし
	引き掛け式トグルブレーキ	引き掛け式トグルブレーキ

単位mm

機種名		
	BAL-R5	BAL-R6
	22	16
	6	6
	400/425/450	400/425/450
	375/400/425	375/400/425
	400	400
	400・420（※1）	400・420（※1）
	420	420
	330±20	330±20
	260/285/310/335	260/285/310/335
	875/900/925	875/900/925
	600・620（※1）	540・560（※1）
	965	955
	660/685/710	660/685/710
	310	250
	735（950）	670（885）
	15.0	13.3

アフターサービス

・万一故障の場合は、お買い上げの販売店、または弊社へこの商品の品名と故障状況を連絡してください。
・保証期間内の修理につきましては、保証書の提示が必要です。

保　証

・保証内容につきましては、同封の保証書をご覧ください。
・保証期間終了後の修理につきましては、お買い上げの販売店、または弊社へお申しつけください。
　修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

本製品の廃棄につきましては、最寄りの行政担当窓口におたずねください。

製造元

Wheel Chair MiKi

株式会社　ミ　キ

〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号

2309-001BR3